

(1)

入善町議会だより

昭和55年5月1日発行

入善町 議会だより

3月定例議会

№ 26 号

発行所 入善町議会

編集 入善町議会だより編集委員会
富山県下新川郡入善町入替3,255
☎ 0765 (72) 1100

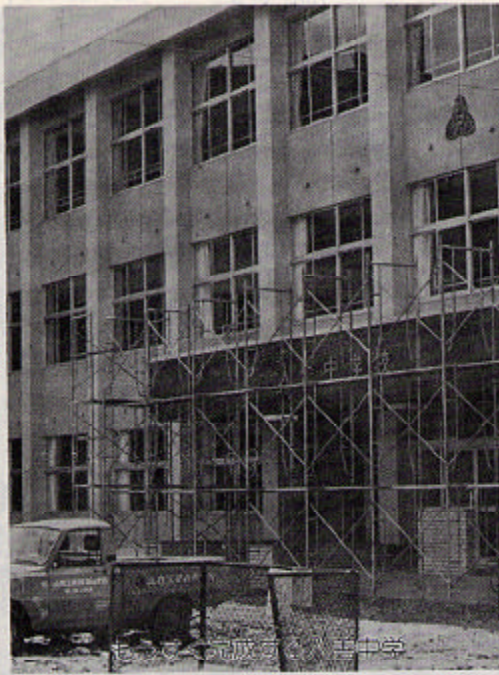


春らんまん

55年度予算決まる

入善中、横山保育所、墓地公園を建設

3月定例議会は6日から19日まで14日間の会期で開かれ、55年度予算などを議決した。



入善中学校改築事業などに対処するため

一般会計は
49億7千820万円
町税は12億1千万円を計上し、
地方交付税は11億7千万円、国庫
支出金については6億6千94万円、
県支出金7億1千94万円を員積つ
た。

一般会計は
49億7千820万円

55年度予算は

61億3千万円

こんなことが
決まりました

め、積立てていたものを取りくずし、財源にあてるものである。
町債3億7千600万円は歳入額の約1.6パーセントを占め、建設事業に対する財源にあてられる。
(歳出)
離岸堤など海岸保全に3億510万円、農村総合モテル事業に2億7千59万円、非補助農道整備や町道舗装に2億7千85万円、水田利用再編対策に1億6千38万円、入善

特別会計は

11億5千682万円

内訳は、国民健康保険8億9千800万円、簡易水道1千350万円、育英奨学資金22万円、土地取得6千800万円、分譲宅地8千410万円、墓地公園9千9万円である。

条例改正

などの案件

予算以外の案件として条例の制定1件、条例の改正16件が可決された。
その主なものとしては、

漁村センター条例は、横山に建設している漁村センターを管理するために制定された。

町税条例の一部改正は、前納報奨金のうち、10円未満の端数を切り捨てることに改正された。

特別会計条例の一部改正は、墓地公園特別会計を新設することに改正された。

母子医療費の助成に関する条例の全部改正は、現行母子家庭の助成の範囲を父子家庭の義務教育終了前の児童に広げることに改正された。

表彰

おめでとう

米島一信議員

上島藤吉議員

小林与三雄議員

上田義信議員

(順序は議席番号)

米島一信議員、上島藤吉議員、

小林与三雄議員、上田義信議員

は、去る3月6日に議会定例会

の開会に先立ち、議員在職10年

に及ぶ自治功労者として、町長

より表彰を受けた。

人事

鬼原勝次氏(浦山新)を再選

入善町固定資産評価審査委員会の委員定数が3人であるが、審査委員鬼原勝次氏の任期が55年3月17日に満了するので、同氏を再選した。

質疑

収集委託に論議が集まる

収集車の払下げを 歳入にみたか

福沢万次議員

問
可燃焼物を委託するにあたり、現在使用されているごみ収集車4台のうち、3台は業者に払い下げることだが、どのようなか

ちで払い下げられるのか。

また払い下げた収集車の代金は、財産収入としてみるのかどうか聞きたい。

藤井環境課長

現在町で保有しているごみ収集車は4台であるが、4台を払い下げて実際に稼働するのは3台、1台は予備車にするという予定を立てている。払い下げ価格はそれぞれ査定し、分割払いをしていたら委託料と相殺したいと思っている。



選別収集

委託料とは

小林与三雄議員

問

昨年の委託料は不燃焼物収集委託料で、今年には不燃焼物収集選別委託料になっており、130万円上乘せとなっている。これはどのような選別をするということが増えてくるのか。

また可燃物にしても選別すれば相当の収入があると思うが、この場合町が収入に充当出来るか。

関連質問

岩場 俊議員

昨年の3月定例会議会で聞いたところ、「値上げは今のところ考えていない」とのことであった。本年度130万円引上げられるが、その辺を説明してほしい。

環境課長

昨年の不燃焼物収集委託は収集だけを委託し、選別は町でやってきた。今年から選別も民間に委託することにしたので、その1名分の人件費と燃料費等の値上り分として130万円を引上げたい。

不燃焼物の選別とは、埋立地付近住民との約束により、不燃焼物の中に混ざっている可燃物を取り出し、焼却場へ運ぶことである。

選別をする資源として利用出

来る物が出る。これを無償で渡す代償として回収業者から選別人夫1名を出させていた。今年もそのようにしたい。

可燃物は選別していない。

問

ふるさとバスは好評であったと思うが、予算にないのはなぜか。

町長

好評だったのは町政バスである。ふるさとバスは、何年か一回でよいのではないかと思っている。

相殺は不適當でないか

九里郁子議員

問

収集委託料と収集車の払い下げ金との相殺は不適當でないか。

関連質問

竹内杜太議員

交通事故があった場合のことを考えれば、車の所有者をはっきりしておかないと賠償責任が誰にあるか分からない。運営管理者、安全運転の教育の問題もある。

議長

担当常任委員会で十分に検討することにしたい。

問

水資源調査費の委託料80万円はどこのためのものか。

町長

舟見地区でやろつとしている。

議会のうごき

2月	3月	4月
2日 議会だより編集委員会	5日 県町村議会議長会総会 (市町村会館)	12日 熊本県代出町議会議員視察来庁
4日 総務委員会	6日 議員全員協議会	18日 石川根上町議会議員視察来庁
25日 議会運営委員会	7日 議会運営委員会 (第1日目)	
	11日 第20回議会定例会 (第2日目)	
	12日 第20回議会定例会 (第3日目)	
	13日 総務委員会	
	14日 文教厚生委員会	
	17日 産業建設委員会	
	19日 議員全員協議会	
	第20回議会定例会 (第4日目)	
	21日 福井県今立町議会議員視察来庁	
	29日 新川広域圏議会 (魚津市役所)	

対 反 論 討 成 賛

議員報酬の引上げなどに反対

丸里敬子議員

80年代に入り日本経済は、一層深刻な様相を示し、政府は反住民的な負担増を押しつけているので、住民の生活が厳しくなることは必至である。

昭和55年度予算は、こうした厳しい事情の中で編成され、保育所の改良、農村婦人の家建設、父子家庭の医療費助成など積極的な取組については評価している。しかし、し尿汲取料や保育料などの

合理化は事前によく説明せよ

福沢万次議員(社)

昭和55年度予算については、二、三意見と要請を付けて賛成する。歳入は全般的に堅実な見方であると評価しているが、町有財産の処分に対しては町民に理解出来るよう明確にすべきである。

歳出全般については行政経費の効率化と経費の節減に努力されていることは高く評価する。しかし町民と密接な業務の合理化は、議会とも相談し議員も一般町民からその

成 賛

調和のとれた予算である

岩場俊議員(民社)

昭和55年度の国の地方財政計画は厳しい抑制政策が取られたが、本町の予算もまた厳しいものとなった。

保育料、国保税の値上げについては、余裕があればしない方が良いが、町民の多様化する要望に因應するには、予算は片寄ることなく調和のとれたものでありたい。従って応分の受益者負担を求めるとは、財政の基本と考える。しかも義務的経費を35パーセントに抑え、公共投資の抑制から来る投資的経費の伸び率の低下を国予算の獲得による単独事業の増加で補うなど苦心された予算である。

公債費にしても債務負担を含めて15パーセント以内に抑える覚悟があり、健全財政が維持されると思われる。議員や町三役等特別職の報酬・給与は、住民が議員・三役の職務をどう評価し、その活動をどのよう

きめ細かく住民のニーズに答えている

大林政雄議員(自民)

昭和55年度予算については苦しい財政事情の中からきめ細かく住民のニーズに答えていると高く評価する。

行政経費の見直しによって経常費の節減など、議会の意向をくみとったところが伺われた。航空機の展示は、大人の政治とは関係がなく、単に科学と技術の先端をいく物の子供達に見せるためのものであり賛成である。

積極的な運用を求める

小林三三議員(自民)

国際経済は先行き不安定である。国の予算も昭和35年以来最低の伸びであり、入善町の7.1パーセントの増加は中庸を得たものと言えらる。歳入については町税、地方交付税、国庫支出金と適格な把握が必要であり、歳出構成比率からして積極的な予算とつかうがえる。

町の責任業務である可燃物収集は民間に委託されることになっているが、住民サービスを下げるべきでないように、合わせて経費の節減に努力されたい。築の本自然公園に野球場を設置すること及び墓地公園の造成は、

反省すべきである。本日は今回の答申は三役も議会もまずまず複雑化する町行政に風格に対応し、町民の付託に応えよとの見解が示されたものと思つた。責任は重大である。以上の意見のもとに全案件に対し賛成をする。

議員や町三役の報酬は審議会の答申を尊重する方がよいと考える。墓地公園の造成が計画されて、公園都市宣言の町にふさわしいものになることを期待する。道路整備も他市町村を抜いているが、住民の要望は依然として強く、施行順序に充分注意され、公平を欠かぬよう留意されたい。また学校統合敷地の獲得に遺憾のないよう要望し賛成する。

当を得たことと考える。国保財政は制度上の問題はあ

るが、改善・研究されることを望む。地域農業生産総合振興対策事業は、時期を失うことがないよう、また高速自動車道の建設には公団との合意はあっても、関係住民と充分話し合い、住民が不利益を被らないようにされたい。じょうへのま遺跡予算は完全に執行されるように期待する。以上財政上厳しい時ではあるが積極的な運営を希望して上程案件全部に賛成する。

債務負担をどうするか

土地改良事業などへの影響が心配

一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問

起債に対する心構えを問う

米島 一信 議員（自民）

代表質問

入善町自民党議員会を代表して質問する。

昭和55年度における公債比率は9.5パーセントで、土地改良事業等に対する債務負担の比率は3.6パーセントを合せると13.1パーセントとなり、毎年1パーセント程度上昇すれば昭和56年度あるいは57年度には町長が限度と言われる15パーセントになると思われる。今後の起債に対する心構えを伺いたい。

町長

入善町は債務負担行為として市場整備事業や農道舗装事業に投資したことにより、住民の皆様が早くこの恩恵に浴することが出来た。

現在の債務負担行為の残高は土地改良事業に対し5億8千280万円、非補助事業の農道舗装に5億1千90万円、その他は漁港や林道に対して2億3千630万円となっている。

昭和55年度の償還額は一般会計債の分として3億4千220万円、7.7パーセント、債務負担行為の部として1億950万円、4.3パーセント、合計金額4億5千660万円、比率13.1パーセントとなり、私が限度と考えている15パーセントに近づいている。

一般会計債は学校建設など公共事業に付くものであるからぜひ獲得したいと思うが、土地改良区を主体とする債務負担行為は償還に



見合った程しかみてゆけない。本年度税に伸びがあれば率が下がってくるので期待している。

問

石油価格をはじめとする諸物価の高騰や公共料金の値上げが来年度以降の総合計画に影響を及ぼさないか。

町長

入善町総合計画について本年度は住民のニーズに答え計画をすべて予算に計上した。本年度以降からは物価の高騰、公共料金の上昇、国際的にも不透明な部分が多いので、一部事業を繰りのべることになってもやむを得ないと思う。

問

学校給食で合成洗剤の使用を禁止する考えがあるか。

教育長

合成洗剤の問題は全国的な問題で、それぞれの機関で慎重に検討

問

野菜の価格保障制度の普及には、転作との関連で重要だと思いがたのように対処されるのか。

町長



農政課長

この制度に本年は810トン契約するつもりである。価格の暴落があった場合は市場価格の80パーセントが保障される。

一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問

行・財政に取組む基本姿勢を問う

上島 藤吉 議員 (自民)



代表質問

イラン革命、ソ連のアフガニスタン進攻等国際情勢は険悪化しつつある。また石油問題は世界経済を不安定なものにしている。石油によって支えられている日本経済に及ぼす影響等と合せ国際情勢をどのように判断するのか。

町長

世界情勢は米・中・ソ三大国あるいは先進国、後進国、あるいは産油国、非産油国など対立の中に揺れ動いている。石油に依存する日本経済は極めて腰の弱いものである。将来は石油に依存しないIC等付加価値の高い物の生産を図らねばならない。

問

地方の時代と言われている中で、県から一部の許可、認可事務

で確かだと思っている。

問

公債及び債務負担行為の合計額が42億5千300万円に達していて、これ以上増加することは将来の町財政運営に重大な支障を及ぼすものと考えられる。

債務負担行為に対する今後の対応をどのように考えているか。

町長

債務負担行為と合せた公債比率の限度を15パーセントに置いていく。問題は土地改良事業などに対する債務負担行為である。今後はこれに対する見直しが必要だと思

問

入善町の農業経済は、農工一体化の成功と自主流通米の生産により安定化の方向にあったが、水田再編対策はこれに重大な影響を及ぼしている。今後どのように対処しようと思

町長

水田再編対策については入善町長一人の力ではいかんともしがたい問題である。

町長

富山県全体として、また石川県福井県、新潟県、大きくは良質米の産地が一緒になって、地方選出の議員が発言させ、適地適作の原則を守るように国の政策を変えさせたいと思う。

分の1に相当する面積の割当が見込まれる。そうすると大変なもので2年か3年の内になんらかの処置をしなければならぬと思

問

高福祉には高負担は欠かすことの出来ない要素であることは理解しているが、保育料など負担金の一部には他市町に比べ高いものがある。極力負担減を図るべきである。

町長

福祉については後退することなく積極的に押し進めて行く。それに伴う若干の負担増はやむを得ないと思

問

総合病院を建設する計画があるか

町長



坪野 利揚 議員 (自民)

問

新しく建設される精薄者厚生施設へ行く道路はスーバー農道だけである。施設から墓ノ木自然公園を經由して愛本橋東詰へ取付く道路を新設すれば、公園の利用者にも施設の利用者にも大変喜ばれると思

町長

精薄者施設から愛本橋東詰へ取付く道路は、建設省、地元及び宇

奈月町と検討中である。

スーパー農道は昭和60年に橋も完成する予定なので、施設の利用者はこれを中心利用されるものと思われ。施設からスーパー農道への連絡道路は町単事業として本年度の予算に組入れ提案している。

問

入善町はきれいで、豊かで、生きがいのある町をめざしているが、これに安心して住める町ということを加えていただきたい。それには総合病院の建設が必要と思われる。総合病院の建設について町長の所見を伺いたい。

町長

本町には開業医が23医院あり、通院診療の希望はほぼ満たされている。入院を必要とする患者の大半は町外の病院を利用している。病院の必要性は認めているが、入善町の規模で自治体総合病院を持つことは無理だと思つ。

近隣の病院は創設以来いろいろな変遷を経て今日に至っており、老人の医療費が無料となるまでの病院も赤字で悩んでいた。現在も建物の改築や医療機械の更新で大きな経費の負担をしている。

今年中に民間の方が整形外科、脳外科を中心として100床程度の病院を開業し、将来は医療法人として総合病院を作りたいということを受けている。これが実現すると

民間のものではあるが入院施設が増床される。

問

夜間に交通事故があった場合、救急車で負傷者を運んでもなかなか受付けてもらえないと聞く。総合病院があればこのことも解決出来るのではないか。

町長

受付けてもらえないことがあることは承知している。総合病院の建設と、救急医療体制の充実とは無関係ではないが、救急医療の問題はそれだけでは解決出来ないと思つている。

問

池原金与志議員(自民) 国保運営審議会に提出された資料によると、疾病一件当りの点数が入院、通院ともに町内に比べ町外が非常に高くなっている。入院設備が少ないうえに町民は点数の高い町外の病院へ入院することになり、これが国保会計を圧迫しているのではないかと。

環境課長

診療点数は町内と町外とで入院の場合は3倍近くの差があり、通院でも町外の病院へ行った場合は倍に近い点数となる。

病院にはそれ相当の検査設備が完備しており点数が高くなる。町民各位に適正な受診をお願いしたい。

特急停車の運動をどう進めるか

上田 義信 議員(自民)



町長

公共下水道の調査は、昭和44年から54年までに行い総合計画を策定した。

事業費は100億円を見込み、建設省の第5次下水道5か年計画に組み入れていただくようお願いしている。認可になれば終末処理場の建設など、議会、住民の方々に指導と協力をいただきたい。

問

入善町に特急停車を実現するため、町内の各種団体、企業を含めて協議会を作り、強力にアピール運動をすればどうか。

町長

特急停車を実現するために圧力



留まれる特急停車

団体を作れば良いが、隠密な運動が良いかは一概に言えない。

入善町は利用者数、売上金額、地理的条件とからみても当然資格がある。運動は町民全体の理解の中で進めて行きたい。

問

災害時に出勤する緊急自動車に付する一般運転者のモラルが低い。昨年12月25日の青島に発生した際には、8号線で大型トラックが暴走し、また今年の1月25日に荒又で発生した際には、入善中学校前東側の交差点で地鉄バスが停止もせずに直前を通りぬけた。何か良い啓もうの方法はないか。

また屈折ハジゴ車が繁華街や民家密集地へ出動する際、電線などが活動しにくいのではないかと。

町長

背筋が冷たくなるような話である。この事例を日本船舶振興会の笹川良一氏や県警の交通部長に伝え、消防車の保護に特別の処置をお願いしたい。

火事見物の自動車が消防自動車を妨げることがあるので、関係のない方は自粛願いたい。

屈折ハジゴ車が繁華街へ出動すれば、電力線、電話線が消火活動の妨げになることは明かであり、北陸電力と電々公社に1日も早く地下にするか、裏にまわすよう申し入れていく。近く何等かの処置がされると思つ。

一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問

一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問

中部清掃センターの改築計画を示せ

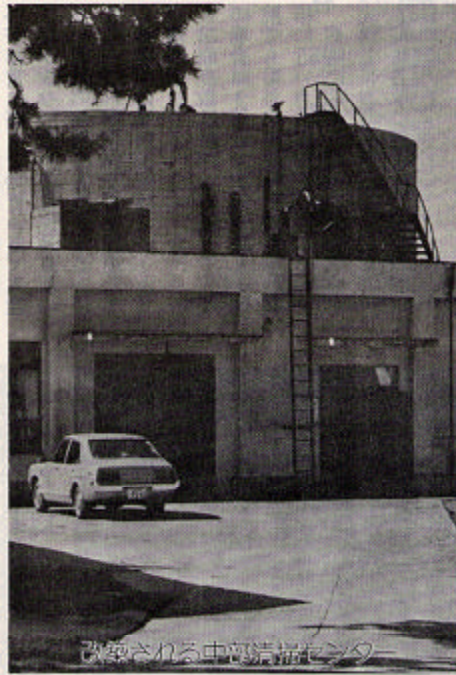
岡島松次郎議員（自民）



問 朝日小川発電所と新愛本発電所の建設計画について、昨年8月に関西電力、北陸電力両社の説明を受けたが、その後の状況と今後の見通しを伺いたい。

町長 両発電所は同時着工が原則と考えている。

関西電力、北陸電力ともに6月の電源開発調査審議会にかけたいと考えているようだ。関西電力から再度説明をしたいと文書で申し入れがあった。



改築される中部清掃センター

朝日小川発電所は隣町との融和を保たねばならないし、新愛本発電所は黒部川からかんがい用水を取水している面積が多い入善町が主導権を持っていると思うので、軽々しく賛成、反対は言えない。

町に不利益なこととは出来ないで、農家の皆様や内水面漁業者の方、議会と充分協議して参りたい。

問 中部清掃センター（し尿処理施設）を改築する計画が進められているようだが能力はいくらになるのか。地元住民へのPRはどうなっているか。

町長 中部清掃センターが周辺や下流の皆様は大変迷惑をかけていることは承知している。

計画として機械を新鋭化し、第3次処理施設を付け加え、排水の

BOD（生物化学的酸素要求量）やSS（浮遊固形物）の排出基準が30PPMのところ10PPM以下になるので、完成すれば迷惑をかけなくなると思っている。

処理能力は現在1日に155キロリットルで、これを増やさなくてもよいという意見もあるが、私としては30キロリットル程の余裕を持つべきだと思っている。これから関係市町の意見を調整していきたい。

関連質問

屋木忠義議員（自民）

し尿処理施設でメタンガスをつくり、家庭に供給する計画があったように聞いたがどうなっているか。

町長

そのような計画は知らない。

55年度一般会計の疑問点

福沢万次議員（社）



問 昭和55年度予算につき次の諸点について伺いたい。

- (1) 可燃物の収集が民間に委託されることになったが、委託料を2千500万円と算定した根拠は。
- (2) じょうべのま遺跡用地取得事業が予算に計上されている。この事業は何年度か未執行に終わっているが、55年度での執行の見通しは確実か。
- (3) 中央公園の航空機展示事業費1千136万円のうち1千万円は、機体を屋根で覆う工事費と聞いているが、財政の厳しい折から一考を要するのではないか。
- (4) 区長手当を増額する考えがな

町長

い。 (5) 町債の発行高は、55年度で普通会計債と債務負担行為をあわせ

ると42億5千500万円、比率も13.8パーセントになる。町債の償還計画はどのようになっているか。

町長

(1) 可燃物を町で収集すると3千232万円必要などところ、民間に委託すると2千700万円でよいと試算した。この金額からさらに最終処理のための町職員1名分の給料を差引いて委託費を2千500万円とした。昨年から実施した不燃焼物の委託が町民に評判が良かったのと、経費の節減になるので委託に踏切ることにした。試算の細部は後でお見せする。

(2) じょうべのま遺跡の用地取得は護岸工事につき、文化庁と建設省との話し合いが進み、建設省は理解を示している。55年度以降に一步前進している。55年度以降に入善町の発祥地として専門の調査委員と相談し、遺跡公園として整備していきたい。

(3) 航空機の払い下げは、各所へ頼んで無理に無償でもらってきたもので、大切にしなければならぬので屋根は必要であると思う。

(4) 日頃区長の方々には大変ご苦勞をかけており感謝している。要請があれば増額に応じたい。

(5)普通会計債の比率は37パーセント、債務負担行為は36パーセントを合せると73パーセントとなる。決算の時点で1億円余り税が伸びないかと期待している。そうなるのと公債比率が34パーセント位になると思われ、健全財政を堅持している。今後債務負担行為が重荷になってくるのは確である。

問 消防署に昨年度のはしご車に続いて本年度は救急機械搬送車が購入されることである。21名の消防署員で緊急時に充分対応出来るか。

町長 地方交付税の対象からすると、署員の定数は4名である。今度1名増員して21名とし、司令を除き10名づつ交替制で勤務する。人数は基準の2分の1であるが、若く優秀な署員ばかりの少数精鋭主義で充分活動が出来ると確信している。はしご車も充分活動出来ると思ふ。

問 新柄山町管住宅の畳は新湊の業者が入れ、入善中学校の柔道場の畳は大阪から入ると聞いている。工事請負者に対し、「地元業者へ発注するように」との指導が徹底していないのではないか。

町長 工事は出来るだけ分離発注し、下請をさせる場合資材も地元業者へ注文するよう指導している。畳

の件は、どこから入っているか調べてみなければわからないが、価格に差があったのではないか。

問 教育の町として小中学校教育に重要な役割を果たしている教育センターの充実が急務と思ふ。

昭和55年度予算では教育センター費が減額されているのはなぜか。また教育センターを新築する計画があるか。

また小学校で行われている親子スキー大会の費用が高つくと思ふが、母子家庭などに援助出来ないか。

町長 入善町教育センターは、呉東では最も優秀であると県教委が評価している。職員は非常によくやっている。教育センター建設については、

田中踏切を立体化する計画は



西尾 三郎 議員 (自民)

西中学校に建設するか、入善小学校改築に合せるか、中央公民館を3階建位にしてその中に入れるかいろいろ考えている。

問 親子スキー大会については、要保護児童には1万8千円、華要保護児童にはその2分の1を援助して負担の軽減に努めている。

教育長 教育センター費として必要な額は計上したと思っている。不足になれば補正したい。

問 黒東合口用水の改修に合せてミニ発電所の建設が出来ないか。

町長 発電所は落差が取れるかどうかの問題で、小さいものであったに越したことはない。調査してみたい。

問 田中踏切は工場や住宅が建ち町内で最も多く利用されている。これに対応するために立体交差とするよう県へ請願している。

一般に立体交差になると付近の民家などがくぼ地になり、都合が悪くなったり、価値の下がる場所が出てくるが、今のところそのような所は少ないと思ふので、早く着工するよう強く県と交渉している。

町長 武村福祉会館の駐車場は17台分しかなく、年間8万人の利用者があることを考えると少なすぎる。増設出来ないか。

町長 武村福祉会館は全額武村氏の寄付により建設されたもので、町の中心部に建てたいという意志に添うことが条件であり、入善神社氏子一同のご好意により敷地を借用して建設した。従って駐車場が充分でなく現在ある17台分は、会館の利用者用というより、会館自身の自動車用と言った方が当たっている。増設については旧警察署跡は中央線の代替地として残さねばならないし、児童公園も神社外苑として残さなければならぬ。

町長 去る2月23日に発生した女子高校生飲酒ひき逃げ事件は、住民に

大きな衝撃を与えた。再びこのような不祥事件が起きないようにしなければならぬ。この点について町長の所見を聞きたい。

町長 交通安全運動は町民総ぐるみで行われている。町としても54年度予算で上飯野地区に交通安全塔を建てるなど力を入れてきた。今度の事件については全く遺憾であり、どこへもやり場のない憤りを感じている。

黒東安全協会及び同飯野支部では特別決議をされ、二度とこのようなことが起らないよう誓い合っている。

町も飲酒運転と暴走の防止にこの上とも力を入れていきたい。



改善が待たれる田中踏切

一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問

一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問

舟見地区を特別豪雪地帯の指定に?



大林政雄議員(自民)

年からようやくスタートし、昭和63年完成を目前に400億を越える事業になると思ふ。

質問にはなかつたが、音沢から2車線の資材輸送道路がつくられるが、この機会に愛本から音沢までの黒部川右岸道路を是非ともつくらせてほしい。国・県とも約束をしてきているし、関電も協力をしてくれる苦で、そうならば舟見の地位も上り、将来は観光道路として有効な働きをしてくれる。

宇奈月ダムの建設は、建設省の事業として昭和61年度を完成目標として着工に移されているが、洪水対策を中心とした多目的ダムで、先の議会で町長は、このダムの建設に当っては入善町にとってメリットがないとの発言をされているが、地下水の低下や枯渇に対する影響がないか。また魚津市、黒部市等に給水される計画があると聞くが、入善町も将来の上下水道の建設に備えて必要水量を確保するため、応分の地元負担をしておくべきではないか。

町長

国費を投じて行う事業の割に効果が少ないのではないかと種々議論された建設事業であるが、昭和54

多目的ダムと言っているが洪水調整ダムであつて、最大2万3千キロワットの発電と、上水道への利用ができたもので給水については他の市町も気のり薄で、仕方なく給水地域とみられる市町の地元負担を県が負担すると言っている。採算がとれないのである。したがって県がかつて負担をしてきているので権利放棄したとは考えていない。

町長

将来舟見、野中等の給水もやろうと思えば出来る。また地下水に対する影響はない。

豪雪地帯の指定は富山県全域が受けているが、特豪地帯の指定条件は非常に厳しく宇奈月は受けているが、朝日は指定されていない。舟見は宇奈月並の特豪地帯の指定を受けるべく今後も努力したいが非常にむづかしい。

降雪装置については、舟見を第一番の必要地帯とみているので、御期待にそうように努力したい。

舟見中学校の見通しは

江畑伊作議員(自民)

組合立舟見中学校は、西中学校や現在増築中の入善中学校と比較すると、施設設備で格差が開くのではないかと。また改築するのであればいつ頃になるのか伺いたい。

町長

舟見中学校の今後の見通しと学校差については、学校差のあることとは否定出来ない。西中や入善中とかかなりの差があり、生徒について入善中学校へ受け入れられる対応はしている。有線について地元の強い要望がある限り無理に入善中学校へ入れることはしたくない。



また学校を改築する条件が備わっていないと至難である。将来、入善・朝日から宇奈月ダムサイドまで道路が完成し、朝日町、宇奈月町から生徒が来ることにすればという希望をつないで時代の流れ、地域住民の意見、議会の意見、生



舗装された入善橋

徒の自覚などにより当分の間現状のままでもいいかと思ふ。

スーパー農道について、黒部川にかかる橋がないと利用価値が少い。橋の工事はいつ頃になるか。

地域農業の振興と生産性の向上をはかる目的で、広域的に幹線道路をつくるもので、魚津から朝日まで2キロメートルのうち55パーセント完成、舗装7キロメートルで27パーセントになるが、問題は黒部川の大橋で、設計の協議が55年度で終り、歩行者専用道路もある橋が明年から5年で完成し、全線開通する予定である。

80年代における市政の展望を問う

石川 昭 男 議員（自民）



合併は住民の意見がまとまり、それぞれの議会で3分の2以上の賛成があり、議決されると出来ることである。

入善町は総合計画に従って着実に事業を進め、住民のニーズに応えたいと思っている。

雇用の拡大を図るため既存企業の育成と、引続き誘致が必要と思

うが80年代における見通しはどうか。

町長

既存工場の育成については意を用いている。

東洋紡入善工場は最も高級な製品を作っているし、新和工業は福島工場が本年稼働することになった。

また富山日本電気は4月に第二期工事が竣工し、舟見ベアリングも地区ぐるみの熱意で工場が倍に拡張される。そのほか双葉グイス、トヨー被服、白馬プラスチックとそれぞれ工場を拡張することになっている。

これらは整備された道路網と豊富な地下水のおかげであると思う。新しい工場の誘致としては、下沢産業の集積材工場や、入善精密

鍛造の誘致が有望視されており、引続き雇用の拡大に努めて行きたい。

町長

80年代に小中学校の改築が完了するか。

小中学校の改築は統合の計画に基づいて行いたい。飯野小は単独でよいが、入善小の場合は横山と

横山をどうするかを含めながら考えねばならないので問題点がある。話し合いにはかなりの時間を要すると思う。これらの3校を1校

にするか。

町長

不安定な景気の中で、向う3年の町総合計画実施に盛り込まれた事業は遅れることなく行えるか。今後の経済動向にどのように対応されるのか所見を伺いたい。

町長

今年組んでいるものは全て実施出来るが、明年は率直に言って不透明なものがある。

町財政は堅実に起債の償還を行って行く。債務負担行為では場整備、農道舗装、農村総合整備を行って恩恵に浴しているが、これからは債務負担行為で事業を進めることは充分相談していかなければならぬ。起債による事業は積極的に獲得し、住民にとって効率の高い事業を進めて行く。

道路舗装の要望が33キロメートルあり、厳しい財政事情の折か

に統合することになったとすれば、この10年間に学校の改築を終ることが可能だと思ふ。

町長

入善町誌の再発行が出来ないか。

昭和42年のものを1千冊つくと1冊が5千円、現在の状況がわかるように編集し直し2千冊つくと1冊分が5千500円である。

新しいものの方が良いと思うがこれにはかなりの時間がかかる。要望が強ければ改訂を再発行したいと思ふ。

池原 金与志 議員（自民）

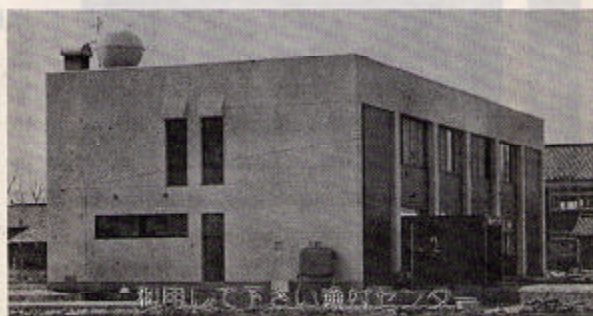
町長

農道45キロメートルのうち舗装完了60パーセントである。今年も補助事業で、効率の高いものから道路改良舗装を続けて行き、近い将来舗装率80パーセントにしたい。

農村総合整備事業は全国に先がけて本年も積極的に予算獲得に努力し、後2年で全体16億17億円で全国で最初に完了する。その後新しく制度化される事業に第1号で採択されるようにしたい。

道路舗装の要望が33キロメートルあり、厳しい財政事情の折か

から要望が満たされるのか、また農村総合整備モデル事業が57年で終了するがその見直しはどうか。



一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問

一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問

行政改善委員会を設けよ



九里 郁子 議員（共）

九里 郁子 議員（共）
れているが、物価高騰によるローリング、時代の変化で見直ししなければならぬ時期がくれば任命する。

各種の料金の値上げを1年止めると、2年目には倍にしなければならぬので、物価等にスライドしながら低く抑えた。

問

町行政の運営について、現在の地方自治制度で国の制約による制度が多い。町政を住民本位のものとするため「行政改善委員会」を設けてはどうか。

また町総合計画審議会の現状と方向と今後物価値上りが予想されるため、町公共料金のすえ置き縮少の考えはないか。

町長

自治体行政について職員に対しては、住民には公正に奉仕する精神で接するよう常に言っている。議員、町長は住民の代表として町民の付託に応え、区長会、公聴会などを出された要望に応じている。この種のものをつくる意思はない。

町総合計画審議委員の任期は切

問

西中体育館の床が固いので、激しい運動は衝撃が強く関節を痛めるといふが安全性の調査と、入善中、黒東小体育館の床を木床にした理由を開きたい。

町長

西中体育館の塗床に対し、日本体育施設協会の調査結果では、この種の床は全国に相当あり、固すぎるという声があるが、卓球、バドミントンに良く、バレーボール、バスケットボールには向かないと言われている。

入中、黒東小は木床にしたが一長一短あり、将来ささくれ立つ問題がある。

学校安全会が入中、西中体育館の傷害件数を調査したところ、12件と17件で西中が多かった。アンケートを取ったり、各方面からも検討したい。木質床に変えるつもり

りはなく、スプリングを入れて上塗りする方法があるが今一度日本体育施設協会に調査してもらおう。

問

西中、黒東小の遠距離通学費について、スクールバス利用生徒父母から徴収した負担金が、バス運行委託料を上回り、地方交付税にも算入されているから、義務教育の父母負担を無くするため、昭和55年度予算を組替える考えはないか。

町長

学校建設については、文部省の基準に近い立派な学校とし、教育機材整備のため一般財源を注ぎ込んでいる。

スクールバスの購入、運転手2名、維持費、税金、保険等、相当多額の経費を要し、スクールバスを利用出来ない者とのバランスも

総計予算主義をとっているか

岩場 俊 議員（民社）



からみ合せ、現行通り父母負担をお願いしたい。

問

公共事業費の伸びは、物価高騰で低下することは明らかである。地元をうるおす公共事業の実施に元請、下請の関係の制度化と、町内中小業者の共同企業体に向け、適切な指導が必要ではないか。

町長

指名業者は60社程あり、発注は町内業者に限定しているが、町内にはない業種や大規模なものは大業者に発注するか出来るだけ分離発注して町内業者をお願いしている。今まで下請業者とのいざこざは聞いていない。

指名入札は町規則により、指名委員会が業者の実績、力量等を選定し、公正に執行され競争入札を行っている。

問

不透明、不確実と言われる80年代にあって、これだけは確実であると言われていることが3つある。その1つは国も地方もともに財政が苦しく、財政再建への道は決して平坦ではないこと、2つには高台化社会が急速にやっできて、国

も地方も適切な対応をせまられていること、その3はエネルギー問題であり、これが対応の如何では、救い難いインフレと不況に襲われるであろうと言っていることである。

まず財政再建という立場で55年度予算の歳入についてお答えをいただきたい。予算は本来、すべての財源を適確に積算した総計予算主義をとるべきである。ところが昭和53年度は、町税での決算額が当初予算に比べて1億円以上も伸びており、昭和54年度でも1億3千万円伸びている。これではじめから一般財源をひくく見積っておき、補助金や起債の枠が獲得できる見通しがたつてから補正予算を組むという考えではないか。

したがって総計予算とは言えない。昭和55年度についても確保している一般財源があるのではないか。

町長

地方財政規模は7.3パーセント、果が6.5パーセントの伸びで入善町がその中間の7.1パーセントの伸びは常識的なものと思っている。意識して町税を低く見積つたつもりはない、堅実に積算したらこうなつたので総計予算主義をつらぬいている。ただし1億円前後の伸びがないものかとの期待はもっていない。したがって確保している財源はない。

問

もし、町税の伸びがあった場合今後にそなえて町債の繰り上げ償

選、基金への積立等の健全策をとる考えはないか。

町長

その趣旨は充分尊重していきたい。本町の場合、今後には学校建設など、一般財源の繰入しを必要とするところが多いので、財政調整積立金へ繰入れ対処したい。

町長

地方譲与税の伸びがいちじるしいが、本当に見込まれるか。

町長

額としては少ないが、自動車の取得が増えたためであり、確実に見込める財源である。

町長

次に歳出についてだが、今国では行政改革、不公平税制の是正を強く迫られているが、本町においても行政機構の簡素化と職員数の適正化を計画的に進めるべきかと思ふが。

町長

新年度より可燃物の委託を行うとともに、現在の役場機構の見直しや職員数の再点検をするなど、効率的且つ合理的な運営をはかるべく検討を進めたい。

町長

債務負担は毎年1千500万円程度の増高を示し、普通会計債では53年度と54年度ともに4千万円の増、55年度は8千万円の増である。総合計画からみて56年度になったら債務負担と普通会計債とをあわせて8千万円の増は確実である。一

般会計の伸びが今年度並とすれば債務負担と普通会計債とをあわせて公債比率が、町長のいわれる15パーセントの限度額に達すると思われるが対応策は、

町長

一般会計の債務比率が9.5パーセント、債務負担で3.6パーセント、あわせて13.1パーセントが55年度の比率であり、債務負担の3.6パーセントがせい肉である。これをなんとかしたい。そして行政水準をおとすことなく対処したい。

町長

国は55年度から、補助金の整理縮小、スクラップアンド・ビルドの原則や、サンセット方式をとることになっているが、町も公債比率の増高に対処して歯止めを講ずる必要はないか。

町長

町の補助金も、効率の悪いものは整理をし、効果の高いものにははっていきたい。また公債費や債務負担などが嵩んでいるのでサンセット方式など取り入れ、公債比率の歯止めをしていきたい。

町長

さて次には高令化社会の問題だが、入善町の状態も、昭和45年に65才以上の方々の占める割合が9.2パーセントであったものが、昭和54年には11.8パーセントと着実に増え続けている。地方自治体としての責任の分野で行えることは、老人の健康管理の問題である。行政

の簡素化、合理化で出てきた余裕を、保健婦活動の一層の強化にふりむける考えがあるか。

町長

言われる通り、当然そのような社会に移行することは避けられないことである。年をとっても働ける体力づくりは、行政の面でも、朝日新聞社賞を受けた保健婦活動の面目にかけても一層手厚く対処し、国保会計の健全化の一助にしたい。

町長

更に老人の自主的な活動に健康管理の方向を求め、コミュニティづくりの中で老人に主役になってもらえる体制づくりが必要と思うが。

町長

老人参加の場づくり、そしてコミュニティの輪をひろげる行政策を一段と進める考えである。

町長

3番目の問題はエネルギー問題である。省エネルギーは国民の義務であるのとらえ方の上になつて、町は積極的な省エネ対策に取り組む、同時に開発の面にも力を入れるべきではないか。

町長

家庭生活の中で省エネ化への指導やPR、資源の節約と再利用地元でのミニ発電など、可能な分野での努力をしていきたいと思ふ。

一般質問 一般質問 一般質問 一般質問 一般質問

委員会審査報告

総務委員会

3月13日

昭和55年度入善町一般会計予算中、当委員会に付託された部分ほか土地取得、分譲宅地、墓地公園の特別会計予算3件、入善町議会議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正など条例改正7件、旧高山地方事務局入善出張所所長官舎利用について請願1件は採択すべきものと決定した。

可燃物の収集委託に伴う自動車払下げ代金の計上については、総計予算の原則に基づく処置がされることとされているが、迅速に対応されるよう期待する。

歳入については、もし自然増があった場合には、公債費の負担が増えているのでこれに対して処置され少しでも債務の負担を軽減していただきたい。



副委員長 若島信行

歳出においては、職員の福利厚生関係、町有財産の管理、公債費については極めて適正に計上されている。

土地取得、分譲宅地、墓地公園の3特別会計予算については適正な予算である。

入善町議会議員の報酬、入善町長等の給与条例については、報酬審議委員会の意見を尊重し可決すべきものと決定した。

入善町各種委員会委員等の報酬及び費用弁償並びに実費弁償支給条例、入善町消防団条例、入善町職員等の旅費に関する条例、入善町税条例の一部改正は適正である。

特別会計条例の一部改正は墓地公園特別会計の設定によるもので当然改正すべきものである。

文教厚生 委員会

3月14日

委員長 福沢 万次



民生費、衛生費、教育費は町民の最も身近に関与する住みよい町づくりと住民福祉、学校、社会教育等重要な部門であり、一般会計予算の35パーセントを占めているため慎重に審議した。

民生費については横山保育所の改築、精神薄弱者更生施設「新川むつみ園」の建設等関係住民の要望に応えられた事を評価し、出来得れば市街化が進んでいる国道8号線の南部に今1か所保育所の建設されることが望まれている。保育費の保護者負担増については、国の徴収基準アップのため町の超過負担をより多くすることができないため止むを得ないものだと認めた。

なお保母、調理員に臨時職員が多い点いろいろ財政的な事情もあるが働きがいのある職場として、身分安定のためにも早急に定員の見直しが必要かと思われる。

衛生費については、昨年の不燃焼物収集に引続き可燃焼物の収集業務も民間委託に対し、これは本来町の責任業務であり、交通安全対策、自動車の運行管理運営の問題や車庫の建設、洗車等による公害処理など未解決の面もあり経費の節減が先行し充分な審議が足りなかったとの意見もあったが、町と業者との責任分担や契約内容を明確にして町が責任をもって指導監督に当り町民のサービス低下にならないよう努められたい。

教育費については、入善中学校が業者の協力により完成予定が相当早まったことは喜ばしい事であり、周辺の条件整備と上原、青木の統合小学校用地の取得に努力されたい。

又学校建築に当っては、従来の型式にとられず21世紀を自指しざん新な感覚をもって設計されると共に、太陽熱を最大限に利用し創意と工夫によって省エネルギー時代に即応した学校建設に努力されたい。

以上の意見を付して55年度一般会計予算案の当委員会に付託された部分については原案の通り可決すべきものと決定した。

国民健康保険特別会計については、医療費の増高、特に老人医療無料化が大きき負担となっている。

保険税の増額、更には一般会計からの繰入金等により運営されている状況であり、予防のPRや乱診乱療は避けるよう被保険者、医師共に良心的に対処すべき問題がある。

簡易水道特別会計、育英奨学資金特別会計予算については特に意見がなく3特別会計予算は原案通り可決すべきものと決定した。

次に母子医療費の助成に関する条例の全部改正、重度精神薄弱児福祉年金条例の一部改正については一歩前進したものであり、老人

産業建設 委員会

3月17日

委員長 池原 金与志



当委員会に付託された予算は、きれいで、ゆたかで、生きがいの

憩の家条例、廃棄物の処理及び清掃に関する条例、体育施設条例の一部改正については燃料費等の上昇に伴うもので止むを得ないものである。

国民健康保険条例、公民館条例の改正等7条例改正案は原案の通り可決すべきものと決定した。

陳情第5号は身体障害者福祉法施行30周年記念大会に関する助成の件だが、大会の内容を検討の上、下新川郡大会であるから、隣町とも連絡をとりながら相応の助成をするべきである。

ある町づくりに関連する部分である。

産業発展のための基盤づくりがゆたかさの元であり、苦しい財政事情の中にあつて農工一体化の入善町としての地位をより高める努力がされておられ、当局の姿勢を高く評価する。

農業費においては、水田利用再編対策を中心として編成されている。

地域農業生産総合振興対策事業として大麦に対応がなされている。この事業は収穫時期にはどしどし間に合わせなければならぬ迅速な執行が望まれる。

又その他の転作物の安定策や諸政策についても常に時代を先取りする気構えで努力していただきたい。

農村婦人の家の建設は、農村婦人の地位の向上と教養を高めるものであり時宜を得たことであると認める。

農業費の中の建設関係については農村総合整備モデル事業として道路の新設改良に重点が置かれていることは住民の最も要望の強いところであり高く評価する。

日本電気の拡充補助による自然公園の整備は、たいへん結構なことだと思つた。

しかし、このことにより大切な自然の破壊があつてはならないし自然を十分に生かす処置をとっていただきたい。

自衛隊の戦闘機の展示については反対の意見もあったが、このことについては大人の政治的な配慮は必要で、子供達の科学する心を育てるにはよい計画である。

高速道路の建設にあたり、道路公団との話し合いがいつの時点で地元住民とも話し合いを行い住民から不信を招くことがないように願いたい。

請願第9号勤労者福祉センターの建設、陳情第6号中央通り商店街アーケードの建設については、入善町総合計画とも関連があり、充分な対応策財政的な見通しの上立って事業を推進されるよう要望する。

以上意見を述べ当委員会に付託された議案についてはすべて原案のとおり可決すべきものと決定し、陳情については採択すべきものと決定した。

請願・陳情処理状況

1. 請願関係

受付番号	件名	請願者	採択年月日	処理区分
4	町道青木西島線の舗装について請願	入善町西島区長 古本光夫 外1名	54. 3. 20	土地改良総合整備事業で54年度実施
5	島公民館連絡線の舗装方請願	入善町島区長 高田隆盛 外3名	"	55年度一部計画
6	青島用水に併用する幹線道路部分の安全施設整備に関する請願	入善町青島区長 込尾浅男 外53名	"	54年度一部実施 55年度一部計画
7	県営土地改良総合整備事業、県営排水幹線整備事業、国営小規模排水幹線整備事業の新規事業に対する町補助金交付請願	青木土地改良区理事長 笹原竹松 外7名	"	55年度計画
8	道路舗装に関する請願	入善町青木上村区長 藤原武雄 外5名	54. 9. 26	54年度一部実施 55年度一部計画
9	林道谷江線拡巾改良に関する請願	舟見生産森林組合長 戸出元雄	"	54年度着工 55年度継続
10	異常気象に伴う雪・あられ並びに強風災害に関する助成請願	入善町花卉根組合代表理事 舟根政義	"	54年度実施
11	道路舗装に関する請願	入善町青木上村区長 泉重信 外5名	54. 12. 18	54年度実施
12	下水溝改修に関する請願	入善町下山区長 後藤義秋	"	55年度計画
13	道路の舗装について請願	入善町青木目川区長 杉沢豊一 外2名	"	55年度一部計画
14	農道の舗装について請願	入善町上野第3区区长 笹瀬端 外5名	"	55年度計画
15	道路改良舗装に関する請願	入善町13区区长 鍋島磯松 外7名	"	私道につき未計画
16	鉄道と交差する水路の改修についての請願	入善町道市区長 吉島久義	"	土地改良区のは場整備事業で55年度計画
17	吉原地区の人家密集地内水路改修に関する請願	入善町吉原1区区长 奥田清 外2名	"	54年度一部実施 55年度一部計画
18	林道中谷線拡巾改良に関する請願	舟見生産森林組合長 戸出元雄	"	55年度着工
19	道路舗装について請願	入善町小杉地区1区区长 青木正義 外8名	"	55年度一部計画
20	五郎八地区排水路の改修に関する請願	入善町五郎八区長 飛島清松	"	55年度計画
21	昭和54年コシヒカリ栽培災害田農家助成金交付の請願	入善町農業協同組合 組合長理事 大角秀尚 外10名	54. 10. 23	54年度実施

2. 陳情関係

受付番号	件名	陳情者	採用年月日	処理区分
2	県営土地改良総合整備事業の制度化に伴う補助金の交付に関する陳情	青木土地改良区理事長 笹原竹松	54. 3. 20	55年度計画
3	身体障害者の町営福祉施設利用料の無料化に関する陳情	入善町身体障害者役員 前田松太郎 外10名	"	留保
4	富山県入善土木事務所の旧建物の撤去取計らい方について陳情	入善第12区区长 田中照 外33名	"	検討中
5	旧新屋小学校町有地交換について陳情	新屋地区公民館長 寺崎清作 外12名	54. 9. 26	54年度実施
6	県営土地改良総合整備事業小摺戸地区の新規採択に関する陳情	入善町小摺戸土地改良区	"	55年度計画
7	離岸堤設置に関する陳情	吉原第1区区长 奥田清 外5名	"	54年度建設省へ陳情
8	道路舗装工事方に関する陳情	五十里区長 飯作陸美 外3名	54. 12. 18	一部関連道55年度計画
9	黒東小学校前バス停附近県道拡巾整備について陳情	黒東小学校PTA代表 鍋島金太郎 外2名	"	富山県54年度一部実施
10	特別養護老人ホーム舟見寿楽苑の建設並びに増設に伴う補助金交付について陳情	社会福祉法人舟見寿楽苑 理事長 脇坂悌治 外7名	"	増設分について検討中

寄付を受入れたものは次のとおり

寄付申出 受付年月日	寄付金品	寄付目的	寄 付 者	
			住 所	氏 名
54.12.21	米飯給食施設 (¥1,100,000) 一式	入善西中学校 の備品として	入善町入膳 3,489-1	入善町農業協同組合 組合長 大角 秀 尚
54.12.26	体操用マット (¥18,500)	吉原保育所の 備品として		昭和54年度母の会 代表 本 田 節 子
54.12.27	金 3,000,000円	入善町へ昭和 54年度奨学資 金として	入善町入膳 5,291	山 本 正 勝
55. 2. 14	カラーテレビ (¥120,000) 1台	入善小学校の 備品として		入善小学校PTA 代表 室 郁 雄
55. 2. 21	運動会用テント (¥63,000) 一式	上原保育所の 備品として		昭和54年度母の会 代表 高 森 ひさ子
55. 2. 23	児童遊具 2セット(キングブロック) ブロックカー (¥55,500)	櫛山保育所の 備品として		昭和54年度母の会 代表 大 田 光 子
55. 2. 23	スベリ台 (¥100,000) 1台	新屋保育所の 備品として		島部落代表 高 田 隆 盛
55. 2. 26	修了記念に製作の額及び組立積木 各1セット (¥52,000)	舟見保育所の 備品として		昭和54年度母の会 代表 梨 木 正 子
55. 2. 26	フラワーアーチ (¥50,000) 1基	西部保育所の 備品として	入善町入膳 5,414	吉 崎 弘 士
	ステージ引幕 (¥50,000) 一式	老人憩の家の 備品として		
55. 2. 26	ステレオ・時計 (¥34,800) 各1台	新屋保育所の 備品として		昭和54年度母の会 代表 石 垣 美 喜子
55. 2. 28	幼児用交通標識 (¥24,500) 一式	野中保育所の 備品として	入善町中沢 388	金 森 良 子
55. 2. 29	飛び箱 1台、トレーニング鉄棒 2 マット 2、鯉のぼり 1セット (¥111,500)	芦崎保育所の 備品として		昭和54年度母の会 代表 伊 野 夕 美子
55. 3. 3	花壇区画施設 (校舎南側花壇、校舎東側花壇) (¥442,000) 2件	西中学校の施 設として		西中学校PTA 会長 杉 沢 孝

寄付者のご厚志に対し深甚なる謝意を表します。

編 集 後 記



いつもご愛読下されありがとうございます。
5月と言えばさわやかな風に新緑がゆれ、目に心地よく写る一年中で最も過しやすい季節です。いかがですか。
少し遅くなりましたが3月定例会の模様をお知らせするため、議会だより26号をお届けします。今号から表紙の題字を変えました。揮毫は町立図書館の米沢さんです。できるだけ親しみやすく、読みやすい紙面をと編集委員一同心がけております。引き続きご愛読下さるようお願いいたします。
議会だより編集委員
上野 幸一 池原金与志
坪野利揚 米島 一信
杉沢長作 小林与三雄
福沢万次 岩 場 俊